



誠・力・光

平成31年3月18日

練馬区立北町中学校

学校だより 3月号

## 《人としての生き方》

校長 赤木 宏行

厳しい寒さも一段落し、春の気配を日一日と感じるようになりました。後二週間ほどで、平成30年度も終わろうとしています。一年がたつのは本当に早いものです。三年生の卒業も目の前に迫り、それぞれの学年が無事に終わらせようであることを保護者や地域の方々のご理解とご協力の賜と感謝いたしたいと思ひます。学年末にあたり、私から二つのお願いをしたいと思ひます。

一つ目は、子供達一人一人のこの一年の成長や変化を見て欲しいと言うことです。毎日身近に居合せていると、小さな変化や成長を見逃してしまいがちです。学習への取り組み、友達との関係、考え方や行動の仕方等々。一人一人の生徒によって、何がどのように変化し、成長してきたのかは異なります。成長の度合いにも個人差があります。また、学校生活での成長と、家庭生活における成長も必ずしも同じものではありません。学年の変わり目というこの大きな節目に子供との距離を置き、大人社会に通用する人間として成長してきているか、自立への歩みがどの程度出来ているか、視点を変えて見ていただきたいと思います。そしてその成長を認め励まし、新しい生活の新たな意欲へと繋げていただきたいと思います。

二つ目は、社会の動きを親自身がつかんでいただきたいと思います。現在のこの急激な社会の変化は、教育の現場にも変化をもたらし、当然その社会の変化を受けて中学生も変わってきています。ご存じのように少子高齢化やさらなる情報社会の激化。練馬区においても小中一貫教育の推進、新たな三学期制への移行等、様々な課題が目の前にあります。子供達が大人になる20年・30年先を予測することは難しいことですが、確実に言えることは、私たち親が育ってきた時代とは、大きく違ってきていると言うことです。「何処を出たか(学歴社会)」から「何がやれるか(実力社会)」の時代になってきていますし、終身雇用制度もなくなりつつあります。そんな中で親や大人が物質の豊かさから「心の豊かさ」を求め、「人としての生き方」の見本を子供に見せてやらなければならないときが来ています。学校と共に未来社会を生きる子供の教育を考えていきましょう。



# 合唱コンクール

3月12日（火）板橋区立板橋文化会館において開催されました。当日は、好天に恵まれ、たくさんの保護者のご参観、ありがとうございました。どの学年、どのクラスとも素晴らしい合唱を響かせてくれました。ここに至るまでには、各クラスでいろいろと課題を解決し、友だちの素晴らしさ等を学んで成長した結果だと感じます。感動で涙した保護者の姿もあり、歌って素晴らしいと感じた一日でした。



## 「命の授業」

3月7日（木）桜台マタニティクリニックの医院長 伊藤 茂 先生を講師に講演会を開催いたしました。先生は、とてもお話が上手で、引き込まれました。最近人気の医療ドラマ、人気女性タレントを例にとり中学生が興味あることから話題が始まりました。性教育をはじめ、道徳教育にもつながり、改めて、人としての命のありがたさを感じ、素直にこの世に生まれて「ありがとう」と言いたくなる気持ちをもたせていただきました。

3年生は、この講演会のあと家庭にもどり、「ありがとう」を伝えたでしょうか？まだの人は今からでも「ありがとう」を伝えてください。



## ご結婚おめでとうございます

今年度、本校教職員3人がめでたく人生の伴侶をみつけました。末永くお幸せに！

谷津 岳文 教諭 平成30年10月1日入籍

藤木 正明 教諭 平成31年2月11日入籍

大山 裕子 養護教諭 平成30年11月22日入籍

